

事業所名 にじいろキッズらいふ(放課後等デイ)

支援プログラム

作成日

7年

3月

27日

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----|-----|---------|----|---|----|
| 法人（事業所）理念 | 利用者の人としての尊厳を大切に、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者様本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努める。 | | | | | | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会性を基本とした力を伸ばすための支援を提供します。 ・学齢期のライフステージに応じた支援を行います。 ・PDCAサイクルを大切にオーダーメイドの個別支援計画を作成し発達支援を行います。 ・複数の事業を展開する法人の強みを活かし連携しながら個々の特性に合わせた支援を行います。 ・常に家族からの相談に応じる体制を作り家族支援を行います。 ・関係機関との連携を図りながら早期発見・早期支援に努めます。 | | | | | | | |
| 営業時間 | 平日 | 9時 | 45分 | 18時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり |
| | 休日 | 8時 | 30分 | 18時 | 0分 | まで | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい環境の工夫(構造化)を行い、自分で組み立て、できる行動を増やせるよう支援します。 ・必要に応じて、身辺自立や基本的な生活スキルの獲得を支援します。 ・『調理』『外食体験』等を通じた『食育』活動を大切にしながら、個々に応じ『食』に関する支援を行います。 ・適切に医療的ケアをができる様、各関係機関と連携し医療的ケアを行います。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・保有する感覚を十分に活用できるよう、様々な活動の経験を通して支援します。 ・感覚特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整、環境設定への支援を行います。 ・苦手や得意の自覚の支援や、姿勢保持や移動の動作の補助的手段の活用・提案・支援を行います。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚を活用し、スケジュールなどの視覚支援から必要な情報を取りやすく構造化し、『わかる』『できる』の支援をします。 ・買い物体験や小集団でのゲーム等の遊びを通して、空間、時間、数等の概念の形成を支援します。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーション力の課題からくる行動障害への予防、適切行動への支援を行います。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動や社会体験を通して、自分の抱く気持ちに気付き、代弁することで、表現できる援助、要求、依頼・拒否等の伝え方の力を育みます。(言語形成と活用の支援) ・言葉だけでなく、視線、指差し、ジェスチャー、コミュニケーション機器等を用いて意思の伝達ができるよう支援します。 ・友達や地域の方々と接することで、主体的なコミュニケーションの成功体験を重ねます。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を基盤に周囲の人と安定した関係を形成できるよう環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育みます。 ・大人が介在して自分の得意不得意を知り、自己理解を促し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動の成功体験を支援します。 ・集団に参加するための手順やルールをわかりやすくする中で、希望に応じて、遊びや小集団の活動に参加できるよう支援します。 ・遊びや活動体験を通し、相互理解やお互いの存在を認め合いながら仲間づくりにつながるよう支援します。 | | | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に各関係機関で支援会議等を開き、情報共有を図ります。 ・定期的に保護者との面談を実施し、支援の方向性等を話し合う機会を設け、相談援助を行います。 | | | | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> ・同法人の児童発達支援センター卒園児引継ぎ会の実施します。 ・同法人の中学生、高校生を対象としている事業所との連携移行します。(支援方法の伝達、受け入れ体制づくりへの協力) | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員や他事業所との情報共有、連携します。 ・地域の人材を活用し、スポーツや音楽やリトミック等の機会を設けます。 | | | | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論、ABA応用行動分析、構造化、特性理解等の専門研修を行います。 ・虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、BCP等の研修を行います。 | |
| 主な行事等 | 長期休みに外出活動や各種レクリエーション、季節に合わせた活動等を行います。 | | | | | | | |